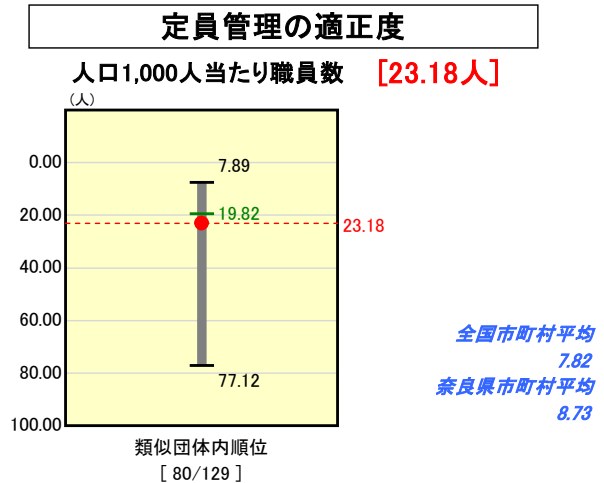
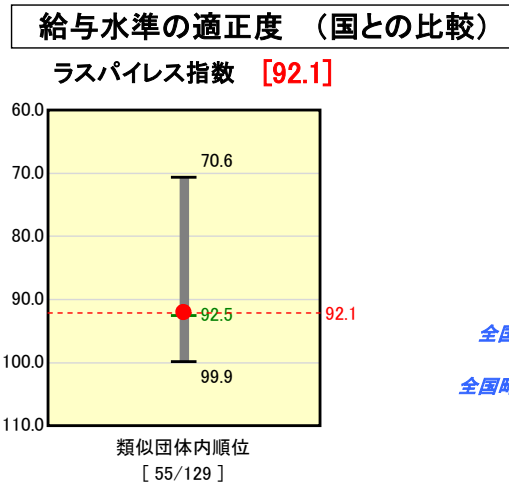
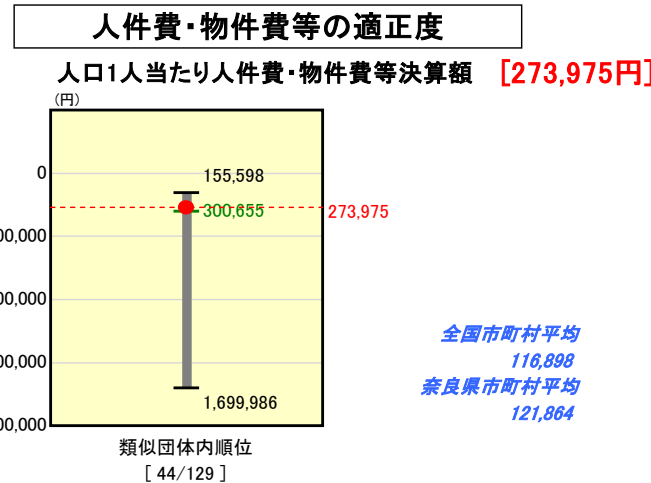
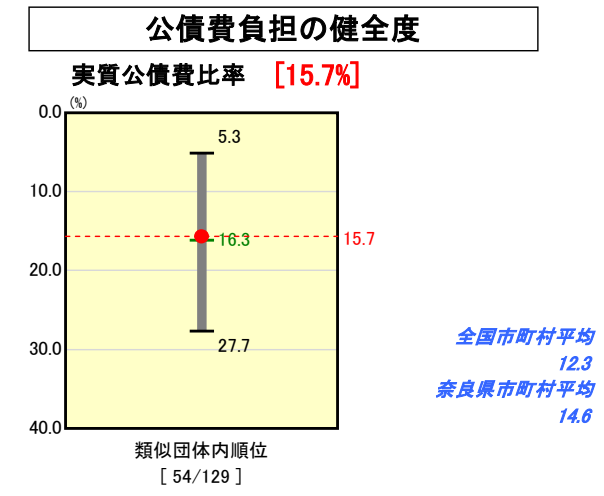
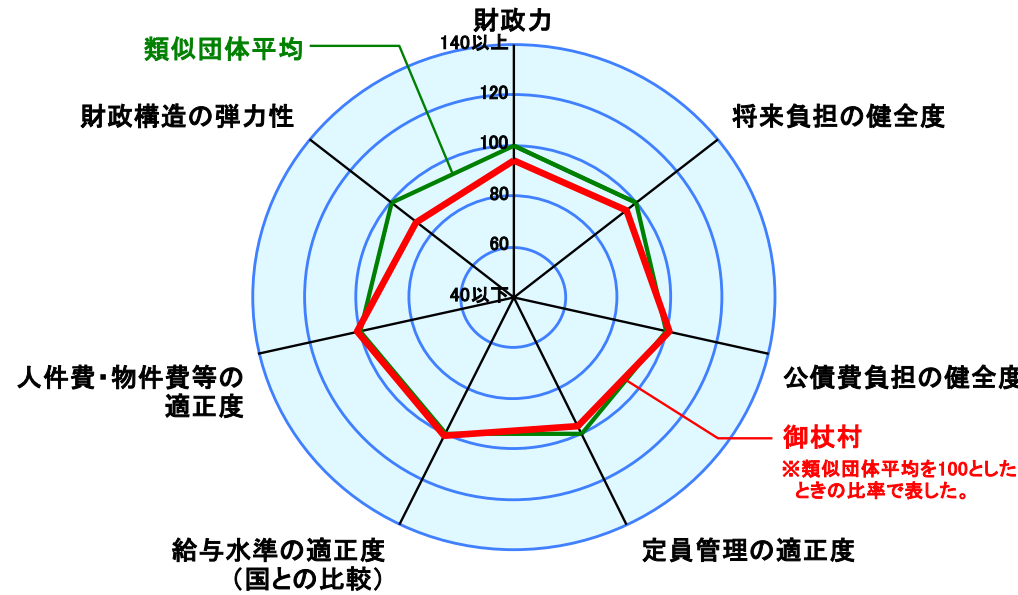
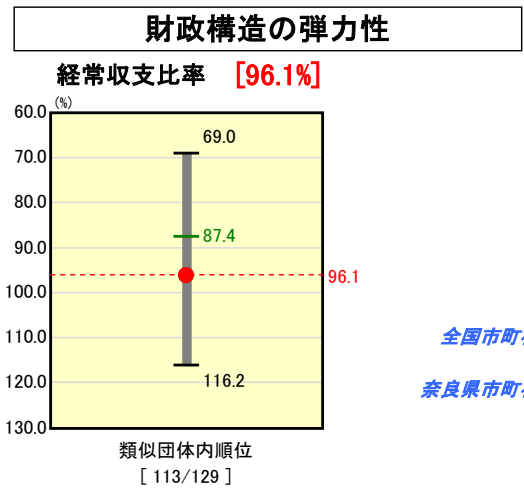
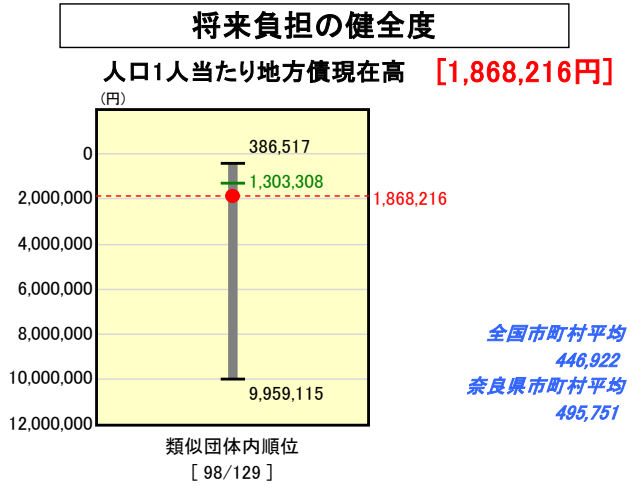
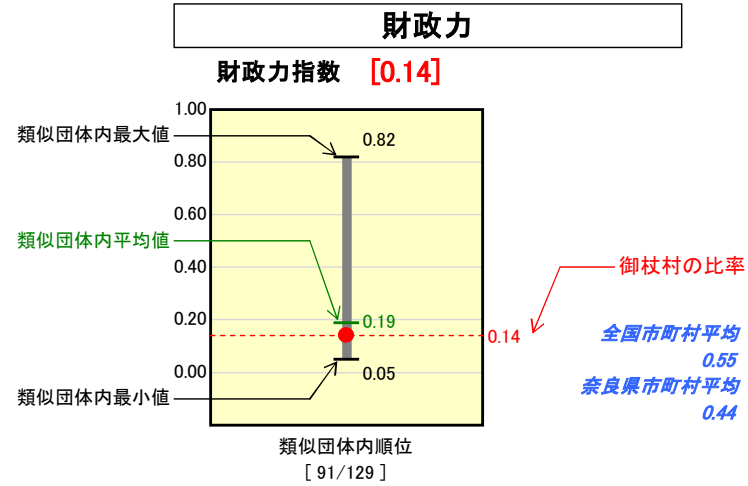


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 奈良県 御杖村

人口	2,286人	(H20.3.31現在)
面積	79.63	km <sup>2</sup>
歳入総額	2,003,011	千円
歳出総額	1,968,327	千円
実質収支	34,684	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

(財政力指数)  
過疎化による人口の減少や本村の高齢化率は42.7%(H20年3月末)にも達しており、また本村の基幹産業である農林業の不振等の要因により、村税は年々減少傾向にあり、徴収率の向上に努めているものの、財政力は極めて低い水準におかれている。引き続き財政改革に取り組み、あらゆる経費の見直しを行い、財政の健全化を図っていく。

(経常収支比率)  
公債費の増加や人件費が要因で、本村の経常収支比率は96.1%と類似団体を大きく上回っている。地方債の繰上償還や退職者不補充等による人件費の削減等経常経費の削減に努める。

(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)  
類似団体のほぼ平均にあたる額ではあるが、退職者不補充による人件費の削減や、電算関係経費の抑制による物件費の削減に努める。

(ラスパイレス指数)  
類似団体のほぼ平均にあたるが、今後も財政改革に取り組み諸手当の引き下げ等の見直しを行い、給与水準の抑制に努める。

(人口1人当たり地方債現在高)  
平成15年度～17年度にかけて、温泉温浴施設整備事業及びケアハウス等施設整備事業による地方債の発行額が多額となっていたため、類似団体を大きく上回る結果となっているが、平成18年度以降、地方債の発行額は抑制しており、平成23年度には類似団体平均の水準となるよう努める。

(実質公債費比率)  
現在はほぼ類似団体平均の比率であるが、平成15年度～17年度にかけての借入額が多額になっているため、今後実質公債費比率の悪化が懸念される状況である。平成18年度以降、地方債の発行額を抑制しているため、平成21年度をピークに改善することが見込まれる。

(人口1,000人当たり職員数)  
類似団体平均を若干上回っているが、定員適正化計画により今後5年間で9.4%(5人)削減する計画であり、適正な定員管理に努める。